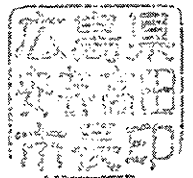


平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

安 芸 高 田 市 長
(〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田 791)



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のこのことについては、別紙のとおりです。

担当 産業建設部
電話 0826-47-1201

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県安芸高田市

- ① 将来の広域行政(道州制)を議論する上で、幹線道路(高速自動車道、地域高規格道路、一桁二桁国道)の整備は必要不可欠である。整備に際しては、全額国費で国が責任をもって整備すべきであり、地方への負担が軽減できるよう必要な措置を行うべきである。
- ② 幹線道路は、基本的にアメリカのハイウェイ方式で整備すべきであり、都市計画手法での整備は適当でない。(幹線道路と生活道路とを区分して整備することが望ましい)
- ③ 自動車道と農・林道が同じ地域間を平行して走っている路線が見受けられる。このため、自動車道、農道、林道というように目的別に区分するのではなく、人の移動や地域の状況を勘案するなど、道路の定義を考え直し、すべての道路を一元的に計画し、整備すべきである。
- ④ 道路財源の一般財源化が検討・実施されようとしているが、地方における道路整備は未だ十分とはいえない。狭義の意味の効果だけではなく、広義の意味の効果、例えば老人福祉や若者定住等を考慮し、効率的な事業実施を条件に、道路特定財源は堅持すべきである。なお、費用対効果については、時間短縮や事故防止などの直接的な便益だけでなく、福祉や救急活動など、市民生活の向上に寄与する項目を幅広く採用すべきである。

②－１ 地域の現状と抱える課題

広島県安芸高田市

○現状

- (1) 国道 54 号の整備に多くの時間を要している。可部バイパス（L＝9.7km）の事業着手から 27 年経過しても、未だに完成していない。いかなる理由があるにせよ早期に完成していただきたい。
- (2) 国道と主要県道との接続が未整備のため、大型車が未改良道路に流入し、歩行者等が大変危険な状況にある。（国道 54 号と県道吉田豊栄線との接続など）
- (3) 合併支援緊急道路として、県から整備の約束をいただいた路線整備の方向性が見えない。（県道原田吉田線など）
- (4) 街づくりの骨格となる路線の整備が急務である。（安芸高田市から空港までの時間短縮に向けた東広島高田道路の整備など）

○課題

広島市の財源不足が遅延の原因の一つとなっていることから、全額国費で賄うなど、地方負担の軽減を図る必要がある。（安芸高田市の街づくりに支障を及ぼす）

県の厳しい財政状況により、国道と主要地方道の接続など、懸案となる道路整備の事業着手が困難な状況にあることから、道路整備予算における地方枠の拡大が必要である。

同上

現在、事業実施中の東広島高田道路（向原～吉田間）等については、全体の整備スケジュールを明確にした上で事業の推進を図るとともに、そのために必要な財源を確実に確保することが必要である。

②-2 地域の目指すべき将来像

広島県安芸高田市

道路は、私たちの生活や産業を支えるだけでなく、地域によっては農作業に使用したり、自然景観を観賞するためにも活用され、地域にとってなくてはならないものであり、これらが相互に機能することが、地方にとって最も重要である。

本市においては、市内各地域の個性を生かしながら市全体が発展してくため、広島市や三次市、東広島市などの周辺都市との広域的な連携と市中心部と市内各町との連絡を図る一体的な道路整備を目指しております。

また、これらを包括する幹線道路（高速道路・一桁二桁国道・地域高規格道路）については、地方財政を当てにすることなく国が責任をもって全額国費で整備するなど、地方の負担が軽減されるような仕組みが望ましい。

私の町の主要幹線道路である国道 54 号可部バイパス（L=9.7 k m）は終点部分の上根バイパスへの接続が未着手となっており、27 年を経過しても未だ全線開通していないことは、いかなる理由があるにせよ問題がある。

地方と都市との移動時間の短縮は地方での定住を促し、福祉政策でもあり、地域格差の是正に最も効果的である。

国は、将来の広域的行政の骨格となる整備を進めるため、幹線道路の整備に専念すべきであり、そのための特定財源は確保されるべきである。

一方、地方は、市町村合併による一体感を保つため、地域間連携のための合併促進道路を含む道路網の整備に専念すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

広島県安芸高田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域定住施策	国道 54 号可部バイパス (L=9.7 km) の早期完成	広島市～安芸高田市間の移動時間短縮により、通勤・通学の利便性向上や災害時等の緊急対応ができ、定住政策につながる。	
地域活力の向上	東広島高田道路の整備促進	広島空港への移動、さらには首都圏への移動時間が短縮され、若者に夢を与え、安芸高田市の定住者が増える。	
合併促進道路	国道 54 号の交通安全施設整備事業、県道原田吉田線（合併支援緊急道路）・甲田作木線・広島三次線・吉田豊栄線等の改築事業の整備促進	市内の地域連携が強化され、合併効果が促進される。また、市内各地域の個性を生かしながら市全体として発展していくことができる。	